

取組名称：彩の国大学連携による住民の暮らしを支える連携力の高い専門職育成
取組大学：埼玉県立大学（代表校）、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学

背景： 少子高齢化、孤立死などの社会問題の顕在化、在宅医療・介護の推進。

事業の基本理念： 4大学共通で育成する人材を通じ、地域住民の質の高い暮らしを実現。

育成する人材像： 他分野と連携し、課題発見、解決方法を考えることができる人材。

連携大学の学部(学科)構成

埼玉県立大学 保健医療福祉学部(看護学科、理学療法学科、作業療法学科、社会福祉学科、健康開発学科)
 埼玉医科大学 医学部(医学科)
 城西大学 薬学部(薬学科、医療栄養学科、薬科学科)
 日本工業大学 工学部(機械工学科、ものづくり環境学科、創造システム工学科、電気電子工学科、情報工学科、建築学科、生活環境デザイン学科)

4大学の学生が共に学ぶ連携
科目の共同開発・共同開講

※IP演習とは、学科横断的に学生がチームを組み、病院等の現場で、職員や患者等の協力による実習を通じ、最適なケアについて学生が考える埼玉県立大学の全学生必修科目です。

学生の主体的な共同
ボランティア等の支援

自主的に地域の課題を発見し、共に解決しようとする各大学の学生ボランティア等を4大学が支援します。

教育や地域に還元する
学際的共同研究の実施

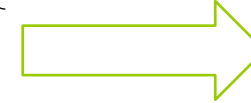
1大学ではなし得ない教育や地域に還元できる研究の実施を選定、実施する体制を4大学で整備します。

地域の専門職や他大学など
社会への還元

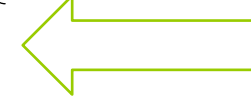
教育研究の成果を生かし、地域の専門職の連携力向上に関する研修会の開催などを実施し、地域に還元します。また、保健医療福祉系の大学と工業系の大学という先進的な連携事例を他大学等へ広報します。



成果の報告、研修会の開催 など



県職員の講師派遣、事業評価への参画 など



埼玉県

埼玉県が進める誰もが健康に長生きできる社会づくりを目指した「健康長寿埼玉プロジェクト」の推進に寄与